

世界の高校生にメールを送ろう！

○授業目標：実際に英語を使って外国の高校生とメール交換しながら、お互いの文化を交流し、視野・世界観を広げる。また、英語を通じて様々な人々とコミュニケーションできることを実感し、英語学習の意欲を高める。

○対象：高校1年生

○対象授業：オーラルコミュニケーションⅠ

<授業の流れ>

活動内容	留意点
1時間目： <ul style="list-style-type: none"> ● ePALS Classroom Exchange の紹介 ● メール交換プログラムの目的・手順を説明 ● 自動翻訳ソフトの紹介・実習 <ul style="list-style-type: none"> * サイトにアクセスし、実際に日本語文章を英語に翻訳してみる。 * 出てきた翻訳の間違い箇所を指摘、入力する日本語を修正しながら、翻訳サイトを利用する上での注意点に気づかせる。 	
2時間目： <ul style="list-style-type: none"> ● 電子メールの書き方、送受信方法を説明、練習 ● メールを書く際に活用できる Useful expressions などを学習 ● 1グループ3～4人ずつに分ける。 ● メール相手（2～3名）を各グループに振り分ける。 ● インターネットを利用し、相手の国について調べる。 ● 相手の高校生に聞きたいこと、伝えたいことを班で考える。 	→プリント用意 →グループは男女混合にする →メール交換が途絶えないようメール相手は複数にする →ワークシート用意
3時間目： <ul style="list-style-type: none"> ● 前回のグループでの話し合いに基づき、英文メールを作成。必要に応じて、翻訳サイトの利用。 ● 実際に、メールを送信。 	→同じメールを教員にも送信させる。(評価の対象とする)
4～6時間目 <ul style="list-style-type: none"> ● 受信したメールを開き、内容を読み取る。 ● さらに聞きたいこと、或いは伝えたいことをグループで話し合いながら返信メールを作成。 	メール交換の中で得た相手の情報をまとめていくよう、伝える。(ワークシート用意)
7時間目： <ul style="list-style-type: none"> ● メール交換の中で学んだこと、気づいたことをグループで英語を使ってまとめる。 ● 発表原稿、資料作り 	→ワークシート等 用意
8時間目： <ul style="list-style-type: none"> ● 各班ごとに発表。全体でシェアした後、もう一度一連の活動の振り返りを個人で行い、気づき等をレポートにまとめ、後日提出。 	→評価の対象とする